

疫学・保健統計 I（基礎的知識）

単位数（時間数）：2 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：非常勤講師・伊藤僚子

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：41

■ 授業概要

人々の健康水準を把握する保健統計の意義と技術について触れ、公衆衛生活動の現状と課題について解説する。また、健康問題の要因を明らかにするための疫学的思考及び影響要因を探索する考え方を修得し、看護活動の計画、評価のための基礎的知識を養う内容である。

■ 到達目標

1. 疫学調査について理解し、疫学調査のデザインの組み方について説明できる。
2. 統計資料について理解し、活用方法について説明できる。

■ 教育内容

健康支援と社会保障制度、疫学

■ キーワード

疫学、統計、集団

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	疫学の端緒	講義:社会的健康の評価。疫学の父 ジョン・スノー	伊藤
2	疫学調査	講義:全数調査と標本調査。標本抽出法	伊藤
3	疫学の方法	講義:記述疫学(人・場所・時間)と分析疫学	伊藤
4	疾病頻度の指標	講義:比、割合、率「有病率」と「罹患率」	伊藤
5	曝露効果の指標	講義:相対危険度と寄与危険度、オッズ比	伊藤
6	疫学調査法(1)	講義:横断的調査と縦断的調査	伊藤
7	疫学調査法(2)	講義:ケース・コントロール調査とコホート調査	伊藤
8	妥当性と信頼性	講義:様々なバイアス	伊藤
9	交絡	講義:交絡の制御「マッチング」「層化」「割付」「制限」	伊藤
10	因果関係	講義:因果推論の基準	伊藤
11	疫学と倫理	講義:疫学調査の倫理、疾病登録	伊藤
12	スクリーニング	講義:敏感度と特異度、擬陽性と偽陰性	伊藤
13	保健統計(1)	講義:生命表、年齢調整死亡率	伊藤
14	保健統計(2)	講義:基幹統計とその他の統計資料	伊藤
15	保健統計(3)	講義:疾病統計	伊藤

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

15 回終了後のペーパー試験

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

希望者に対して試験のフィードバックをメールにて行う。

■ 教科書

宮松直美他著（2025）『標準保健師講座 4 疫学・保健統計学 第4版』医学書院

■ 参考書・参考資料等

厚生労働統計協会編（2024）『国民衛生の動向 2024/2025』厚生労働統計協会

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

事前に教科書を読んでおく。

授業後に配付資料とノートを用いて 90 分程度の復習を行い、内容の理解度を確認すること。

■ 担当教員からのメッセージ

電卓を持参のこと。数学的な授業内容に驚くかもしれません。最初は大変ですが、慣れていきましょう。看護師・保健師として働くうえで、気になったことや気づいたことを科学的に明らかにする手法を学ぶ学問です。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

連絡先は、初回の授業で提示する。

オフィスアワーは、授業の前後の 10 分。メールでも対応する。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

2001年～2003年 青年海外協力隊として、インドネシアの保健所に勤務

2008年から専門学校、さらに2020年から大学で公衆衛生学の講義を担当（現在に至る）

2017年から現在まで看護専門学校にて情報科学の講義を担当し、疫学のパソコン実習を実施

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

疫学の現場での活用方法について、インドネシアの保健所における保健統計情報の収集、解析について事例を挙げて解説する。